

できることから
はじめよう！
環境にいいこと
ひとつずつ



城陽エコパートナー通信

Vol.75

発行日：令和4年(2022年)10月5日

会員数：306人(令和4年9月30日現在)

編集・発行：城陽環境パートナーシップ会議

(事務局) Tel(56)4061 Fax (66)6828

「城陽の生き物ガイドブック ～キノコ編～」完成しました！

文：竹内委員

城陽の生き物ガイドブック～きのこ編～の「はじめに」には「キノコには不思議な魅力があります。」と書かれています。子どもはもちろん、どの年代でもキノコに興味を持たれる方は多いでしょう。「いつの間にか生えてたけど何?」「毒キノコか?」「アニメのようなきれいなキノコはある?」「昔は城陽でも松茸取れた?」など、三者三様の興味がわいてきそうです。

キノコは身近な場所に生えたり、同じ場所・同時期に決まったように生えたり、公園や神社、散歩道の脇に生えていたりなど、誰もがふと見つけることがあります。また、城陽で開かれて



きた「キノコ観察会」も人気があります。キノコを通して自然に触れる機会として、子どもから大人まで幅広い世代の方が参加されています。キノコ探しは「宝さがし」のような楽しみもあり、子どもはもちろん大人も夢中になります。そして子どもたちは、視線もキノコに近くキノコを見つける名人です。

散歩中であれ観察会であれ、見つけたキノコをガイドブックで比べると、さらに楽しみが増えます。ガイドブックには、城陽で見られたことのある80種の写真と簡潔な説明があります。また「キノコは何を「食べて」生きてるの?」などのコラムがあり、キノコへの興味を広げる内容となっています。

城陽で見つかっているキノコの種類はとて多く、ガイドブックで紹介されているのは一部ですが、ぜひ皆さんもガイドブックを手にとって、キノコを探してみましょう。きっと新しい発見があると思います。

★ガイドブックは、9月2日(金)より事務局(城陽市環境課)窓口(1人1冊)にて配布中です。

城陽産菜種油の販売開始！



城陽環境パートナーシップ会議のメンバーが、城陽市の休耕田を利用して、昔ながらに、種をまき、除草、刈り取り、乾燥、脱穀と手間暇をかけ、丹念に育てた菜種を、大山田農林公社で搾油をしてもらいました。そして「城陽産菜種油」となって帰ってきました。混じりけなしの100%の菜種油です。もちろん添加物も入っていません。焙煎菜種の香りと、琥珀色をそのまま残した風味豊かな食用油です。菜種の搾油の際に出た油かすは肥料として利用します(資源循環)。

この「城陽産菜種油」は、1本540円(税込)で、城陽市観光協会にて販売しております。「城陽産菜種油」をぜひご賞味ください。

城陽市観光協会 〒610-0121 京都府城陽市寺田樋尻 44-8 TEL:0774-56-4029 FAX:0774-55-0560
定休日:水曜日 受付時間:9:00～17:00

半世紀を経たふるさと城陽市の生きもの回顧録、鳥獣虫魚・今昔ものがたり序章です。郷土の自然財産である野生動物たちの「住民登録簿」から、特筆すべき記録をピックアップしてお届けします。

魚類では、キンタと呼ばれていたニッポンバラタナゴは、1959年頃を最後に絶滅しました。木津川で天然記念物のイタセンパラを発見したのは1990年のことですが、同じく1970年代に天然記念物のアユモドキの生息が確認されたのも城陽市でした。1993年には公害ニッポンから姿を消し絶滅危惧種となったメダカの自然復活をどこよりも早く確認しています。



メダカ

両生爬虫類では、2012年に京都府の希少野生生物に指定の絶滅寸前種・ダルマガエルの再発見や、京都府で正式な記録が無いとされていた珍蛇・シロマダラを2008年に発見し、1990年の瑞祥の霊亀と呼ばれる甲羅に緑毛の生えたミノガメや、2012年当時の日本一の大スッポンの捕獲は、共に博物館の学術標本となっています。その他、琉球大学でDNA解析されたミナミイシガメとクサガメのハイブリッドの全国初記録や、甲羅に刻印した標識調査によって野外で20余年の長寿記録、外来種・カミツキガメの捕獲など、1990年からの古川カメ調査では多くの成果がありました。



ミノガメ

鳥類では、近年のコウノトリ・ひかりちゃんの飛来や、猛禽類・チョウゲンボウの繁殖、大珍鳥・ミゾゴイの確認などが話題となりました。1987年度より取り組んできた鳥類標識調査に於いて、国際希少鳥類のコアジサシや京都府の希少野生生物に指定のタマシギ、京都府初の繁殖記録のイソシギ等々、城陽市の希少鳥類の繁殖記録や北海道からの飛来やリターンと呼ばれる再飛来の実証など、環境省の標識足環装着による公式な記録が数多く残されています。



コウノトリ(ひかりちゃん)

かたや哺乳類では、1980年代から増加傾向著しいシカに次いでイノシシも急増し、2000年頃から外来種のアライグマ・ヌートリアの侵入が顕著になり、2009年にはハクビシンも捕獲確認され、シカやイノシシと共に農作物などの被害も甚大で、生態系の保全の為に駆除や適性個体数への間引きが緊急課題となっています。



ヌートリア

その他の生き物では、タガメやゲンゴロウは50年前にも既に見られず、同じく農薬の影響から復活しつつあるゲンジボタルに続く朗報が期待されています。また当時の優占種・ニイニイゼミはクマゼミに取って替わり、5年前に京都府で3例目となる「赤いクワガタ発見!」と報じられた南方系のヒラズゲンセイの確認などの報告が寄せられ、地球温暖化の実例となっています。



ヒラズゲンセイ

Today Birds, Tomorrow Men! 鳥の命・私たちの明日…は、緑の宇宙船・地球号乗組員である野生生物たちとの共存で築かれる未来への願いを謳ったものです。豊かな自然環境を次代に引き継ぎ、ふるさと城陽の希少野生生物の記録がこれからも途絶えることのないよう願っています。

コロナ禍3年目、7月から9月初旬にかけて循環部会が猛暑の中、コロナ第7波の最中でしたが感染対策を徹底して、市内保育園に出向き恒例行事を実施しました。

このような状況の中、よりよい講座にするために、事前打ち合わせとリハーサルを実施して、本番に臨むようにしました。

今夏の講座の内容は、①あいさつ、②スライドを使った「モッタイナイ」の学習、③「水はものをよく冷やす」を勉強、最後にミスト体験を実施し、9園、311人の園児らが参加しました。

■感想

- ・モノやエネルギー、電気、水を大切にする「モッタイナイ」が多くの家庭で徹底しているようでした。
- ・既にSDGs環境教育を園児らに教育している園もありました。
- ・ミストの体験は、キャー涼しい！と大きな声が出て楽しそうでした。まさに「体験にまさる教育なし」を実感しました。
- ・約2世代離れた、私たちの話を静かに聞いてくれ、若さをいただき、元気が出ました。
- ・家に持ち帰るパンフレットを次年度から用意することで、家庭での広がりがさらに期待できるのではないかと思います。



「デイリーエコチョイスJOYO」完成間近！

現在、4名の龍谷大学生と一緒に、ゼロカーボンに向け子どもから大人まで、日常生活の中で「できること」があるということに気づいていただくための「きっかけ」となることを目的とした啓発冊子を作成中です。

小学生・中学生編、学生(高校生・大学生)編、家庭・職場編の3種類の冊子です。

どの冊子も朝から夜までの1日の生活の場面で、環境によい行動を選ぶというものです。

ポイント獲得などゲーム感覚で、楽しく取り組める内容となっています。

日常の生活の中でゼロカーボンに向けて、できることはなんだろう…、これだったら私にもできるかも！ちょっとやってみようかな…へつながる冊子を目指し、大学生と協働作製の冊子完成は、もうすぐです。

冊子は11月5日の城陽市環境フォーラムで配布します！





市制施行50周年記念事業

城陽市環境フォーラムのご案内

「カーボンニュートラルに向けて」

入場自由
無料

11:00~

カーボンニュートラル絵画表彰
小学生の部・中学生の部

午前

11:20~

グリーンカーテンフォトコンテスト表彰

終日

- カーボンニュートラル絵画展示
(市内小中学生応募作品)
- グリーンカーテンフォトコンテスト作品
展示
- デ일리エコチョイス JOYO の展示
- 城陽市観光協会 梅の郷青谷づくり
・竹炭の活動展示
- 城陽の生きもの紹介展示
- ゼロカーボンに向けて展示
- 城陽環境パートナーシップ会議
・活動紹介
・城陽産菜種油販売

13:00~

講演会 講師 同志社大学名誉教授 にいかわたつろう 新川達郎氏
テーマ「カーボンニュートラルを目指して
～地域からの進め方～」

午後

13:45~

パネルディスカッション

●テーマ「カーボンニュートラルに向けて
～私たちができること～」

●コーディネーター

同志社大学名誉教授 にいかわたつろう 新川達郎氏

●パネリスト

・龍谷大学法学部法律学科3回生 ひがきしゅう 檜垣葉良さん

・龍谷大学政策学部政策学科3回生 たけばやしあかね 竹林茜音さん

・城陽高校2年生 ちばひろき 千馬大毅くん

・地球温暖化防止活動推進委員 こやのたつや 古家野辰也氏

・城陽環境パートナーシップ会議 おくだていじ 奥田禎爾運営委員

14:50~

デ일리エコチョイス JOYO の完成報告

龍谷大学学生2名による、作製目的、内容、取組効果など

文化パルク城陽へのご案内



2022

11.5 Sat. 10:00-15:30

文化パルク城陽(市民プラザ)

- 主催:城陽市/城陽環境パートナーシップ会議
- 問い合わせ先:城陽環境パートナーシップ会議事務局(城陽市環境課)
TEL0774-56-4061/FAX0774-66-6828

日本観光ゴルフ株式会社
城陽カントリー倶楽部
〒610-0121 京都府城陽市寺田奥山1-46

株式会社 玉井 開発

〒610-0031 京都府宇治市広野町西裏30番地1
TEL 0774-44-3351(代) FAX 0774-41-7007

株式会社 ミズホ

砥石で、未来を磨いてゆく
〒610-0121 京都府城陽市寺田袋尻82番地

東城陽ゴルフ倶楽部

〒610-0113 京都府城陽市寺田奥山1-48
TEL 0774-52-1161

次の団体・個人から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました。

近畿砂利協同組合、京都城陽ロータリークラブ、サントリープロダクツ(株)宇治川工場、(株)城南工建、城陽市、城陽商工会議所、城陽金融会、星和電機(株)、(株)玉井開発、日本観光ゴルフ(株)城陽カントリー倶楽部、東城陽ゴルフ倶楽部、(株)平和堂アル・プラザ城陽、(株)ミズホ、森澤博光 ※令和4年6月末現在(五十音順・敬称略)